

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

## 住友ゴム工業株式会社（証券コード:5110）

### 【変更】

長期発行体格付	A +	AA -
格付の見通し	ポジティブ	安定的
発行登録債予備格付	A +	AA -
債券格付	A +	AA -
国内CP格付	J - 1	J - 1 +

### 格付事由

- 国内第2位のタイヤメーカー。当社は99年から続いてきた米グッドイヤー社とのアライアンス契約及び合弁事業を15年10月1日に解消した。これに伴い海外においては、北米タイヤ製造・販売合弁会社が当社の100%連結子会社となり、欧州タイヤ製造・販売合弁会社は米グッドイヤー社が買い取った。
- 14/12期まで6期増益が続いた営業利益は、16/12期は年度前半の円高を背景に伸び悩んでいるものの依然高水準で推移している。米グッドイヤー社との提携解消に伴い、北米及び欧州での開発、生産が可能になり、また北米工場取得によって事業展開の自由度が増した。北米工場取得による本格的な効果は2年程度後になる見通しであるが、欧州でファルケンブランドの市販用タイヤの拡販が徐々に進むなど提携解消の効果も出始めている。提携解消の一連の取引の結果で325億円のキャッシュインとなり財務指標も改善した。従前より水準の高まった利益・キャッシュフローにより財務構成の改善が続く見通しである。以上を勘案し、格付を1ノッチ引き上げ、見通しは安定的とした。
- 16/12期は前期比9.2%減益ではあるものの、引き続き高水準の営業利益700億円を計画している。年度前半の円高によるマイナス影響を受けているが、タイヤ販売は海外を中心に堅調である。操業開始後間もないブラジル、トルコなど海外新拠点の収支改善や欧米での事業展開の進捗に伴い中期的に営業利益の上乗せが見込める。
- 近年の利益・キャッシュフローの拡大で財務も改善傾向にあり、自己資本比率は16/12期第3四半期末46.0%に上昇した。当面は海外新工場建設の計画はなく、取得した北米工場の活用に注力する方針である。

（担当）窪田 幹也・上村 暁生

### 格付対象

発行体：住友ゴム工業株式会社

### 【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	AA-	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第16回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2007年6月28日	2017年6月28日	2.19%	AA-
第18回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2008年6月19日	2018年6月19日	2.17%	AA-
第20回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2009年6月26日	2019年6月26日	2.071%	AA-
第22回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2011年6月28日	2021年6月28日	1.378%	AA-
第23回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2014年6月25日	2020年6月25日	0.335%	AA-
第24回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2014年6月25日	2024年6月25日	0.755%	AA-

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	500 億円	2015 年 12 月 4 日から 2 年間	AA-
対象	発行限度額	格付	
コマーシャルペーパー	350 億円	J-1+	

### 格付提供方針に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2016 年 12 月 21 日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：島田 卓郎  
主任格付アナリスト：窪田 幹也
- 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014 年 1 月 6 日）として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ（<http://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2014 年 11 月 7 日）、「タイヤ」（2014 年 5 月 8 日）として掲載している。
- 格付関係者：  
（発行体・債務者等） 住友ゴム工業株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：  
・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表  
・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

#### 留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかなるものを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいて行っております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

#### 用語解説

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

#### NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a) 項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ（<http://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

#### 本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

**株式会社 日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官（格付）第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル